

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	福島区
学校名	大阪市立鷺洲小学校
学校長名	川西 邦彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・鷺洲小学校では、第6学年103名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率は、大阪市平均を7ポイント、全国平均を5.3ポイント上回っている。領域別では、ほとんどの領域で大阪市平均・全国平均を上回っているが、「情報の扱い方に関する事項」において、大阪市・全国ともに下回っている。

算数科の平均正答率は、大阪市平均を10ポイント、全国平均を8.6ポイント上回っている。領域別では、すべての領域で大阪市平均・全国平均を6~10ポイント上回っており、特に「数と計算」「データの活用」の領域では、大阪市平均・全国平均を大きく上回っている。

無解答率(問題に解答していない割合)は国語・算数ともに2%以下であり、粘り強く問題に取り組めていることがわかる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

本校は、昨年度までは算数科、今年度からは国語科を中心に「見方・考え方を働かせ、資質・能力を身につける学習」をテーマとし、校内研究に取り組んでいる。

[国語科] 「言葉の使い方」や「言語文化について」「読む」などの事項で十分な理解がみられる。一方で、「情報の扱いに関する事項」については課題が見られた。今後は、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う力についていく必要がある。

[算数科] 全体的に理解度は高いものの、「変化と関係」の領域では他の領域に比べ課題が見られた。道のりと速さのように、2つ以上の数量関係の変化の様子を自分で説明する力をつける必要がある。授業において、考え方・解き方を交流する場面を増やすなどの指導の工夫が必要である。

質問調査より

基本的な生活習慣については、各学級での呼びかけや保健指導などの取組を通して身に付いている児童が増えている。

本校が課題の一つとしてきた自己肯定感の低さについては、学校全体で取り組んできた結果、「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に肯定的に回答する児童の割合が昨年度までと比較し大きく増加した。今後も互いを認め合い、自分自身を認めるができるような学級運営や学習を学校全体で進めていく。その一方、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の質問に否定的に回答する児童が多く、児童同士で意見を交流する学習にさらに取り組んでいく必要がある。

また、「学校に行くのは楽しいと思いますか」にの質問については、肯定的に回答する児童が大阪市平均・全国平均よりも低く、不登校傾向にある児童への対応も含め、学校全体でさらに取り組んでいく必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

- ①国語科や算数科だけでなく、様々な教科・領域において、意見を交流する場面を多く設定し、自分と仲間との意見の違いを知ることで、主体的に対話的な学びを深めるようにする。
- ②複数の資料から必要な情報を見つけ出し、根拠を示しながら自分の考えを発表し深め合う学習場面を設定する。
- ③他学年や他校園・地域との交流活動を通し、自分が様々なつながりの中で生活しているという実感をもち、他者を認める心や自己肯定感へとつなげていく。
- ④ICT機器の効果的な活用を進め、児童それぞれの興味関心や課題に沿った学習を進められるようにする。
- ⑤読書タイムの設定や図書室開放、新聞の閲覧コーナーの整備など、本や新聞に触れる機会を増やし、「読む」習慣をつけていく。

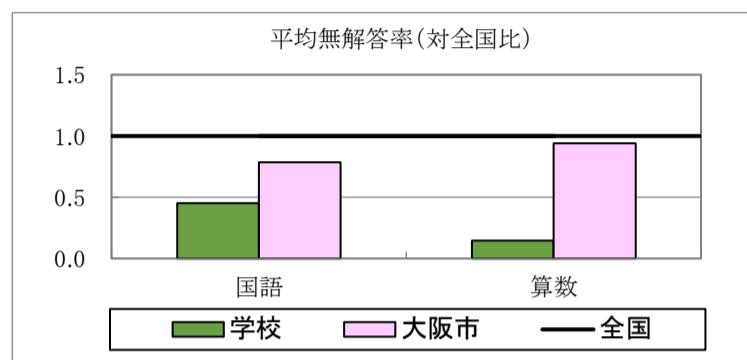
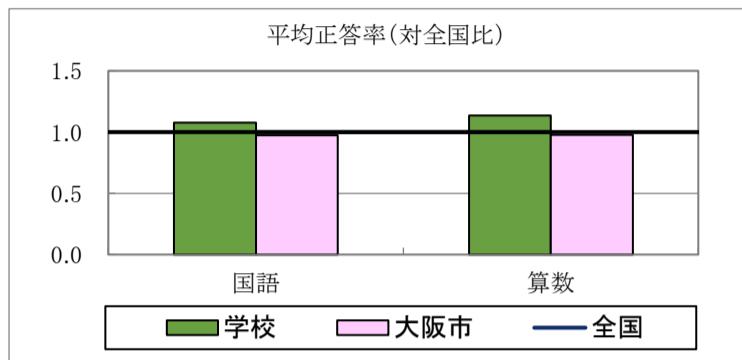
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	73	72
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	1.9	0.5
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

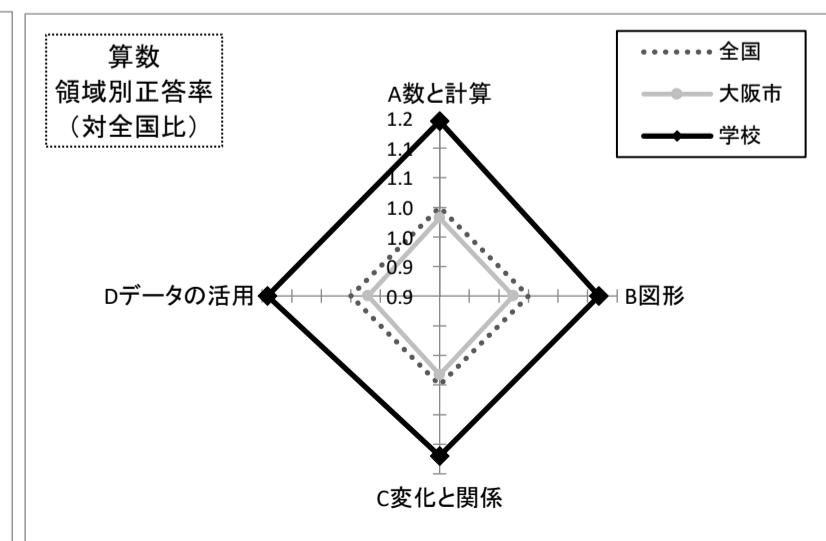
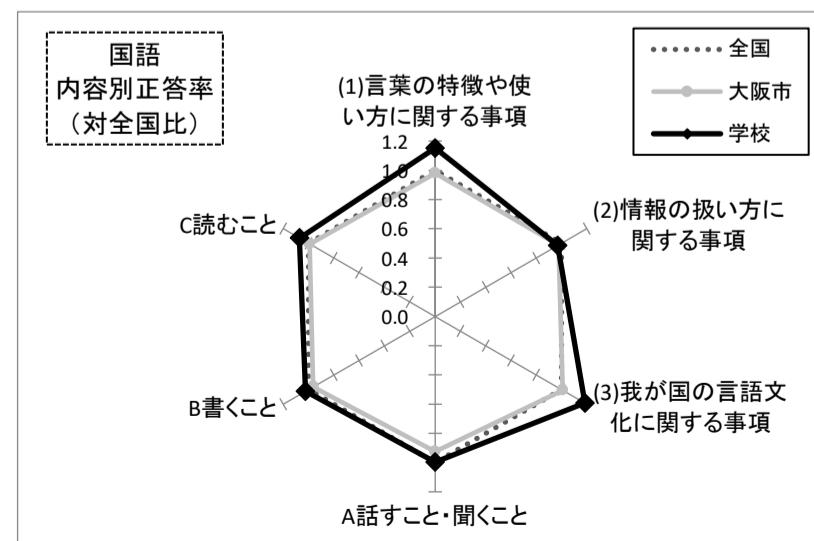
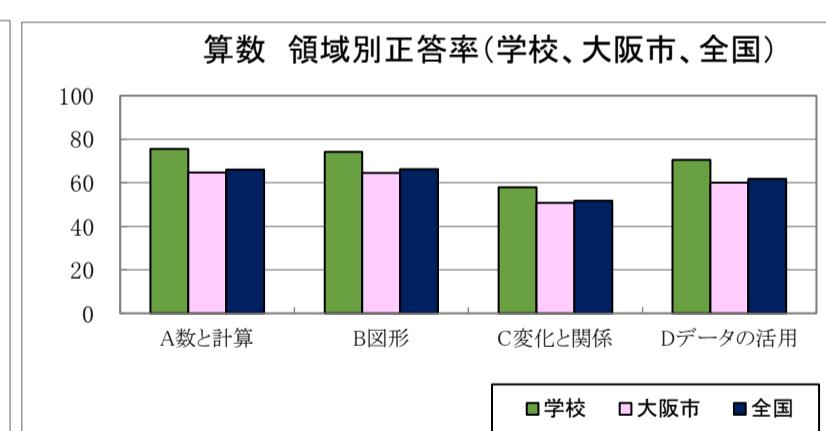
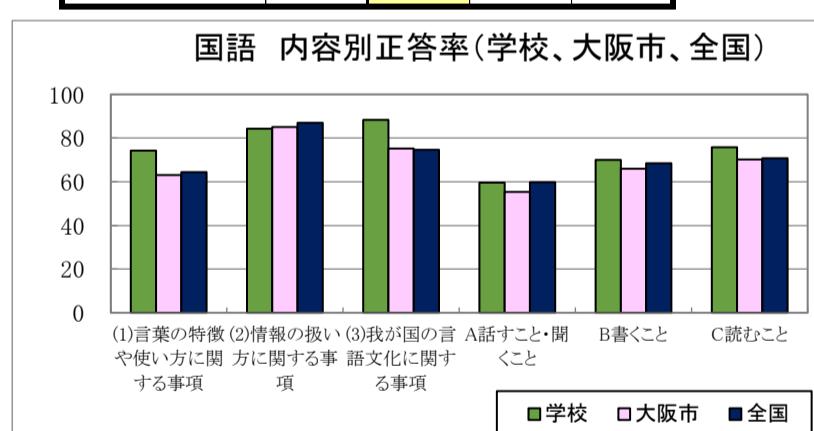


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	74.2	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に関する事項	1	84.2	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	88.4	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	59.6	55.3	59.8
B 書くこと	2	70.0	65.9	68.4
C 読むこと	3	75.8	70.1	70.7

【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	75.6	64.8	66.0
B 図形	4	74.2	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	57.9	50.8	51.7
D データの活用	4	70.5	60.0	61.8



児童質問より

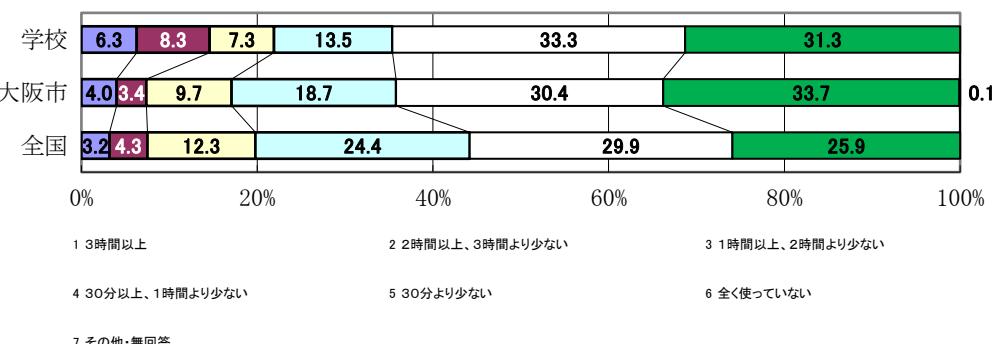
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

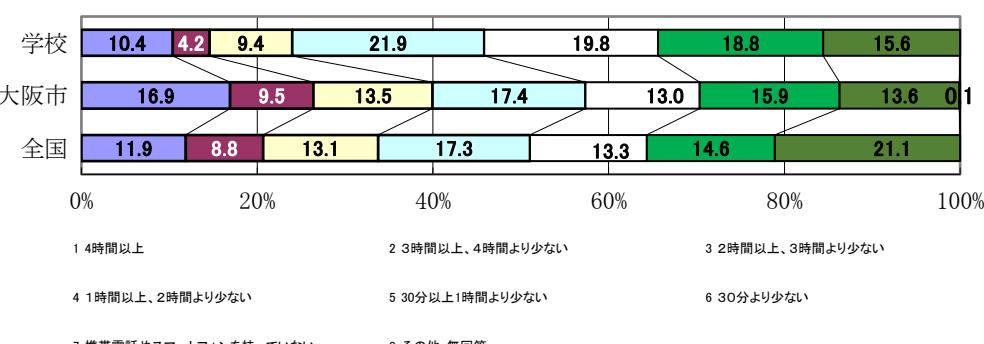
4

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



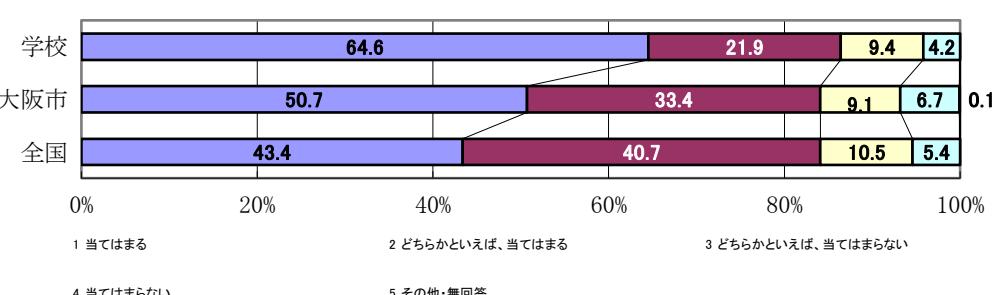
6

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



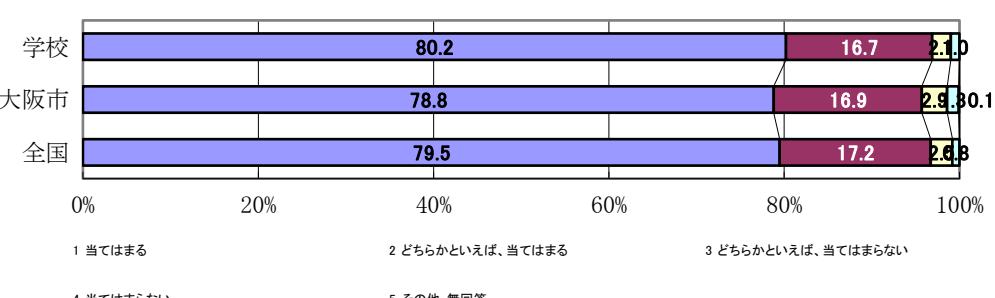
9

自分には、よいところがあると思いますか



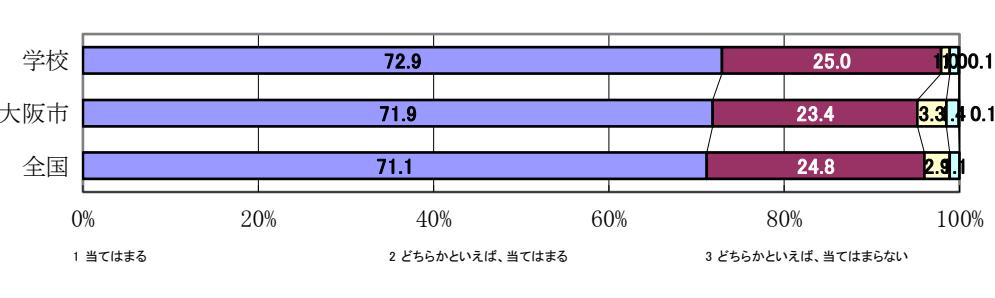
13

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



児童質問より

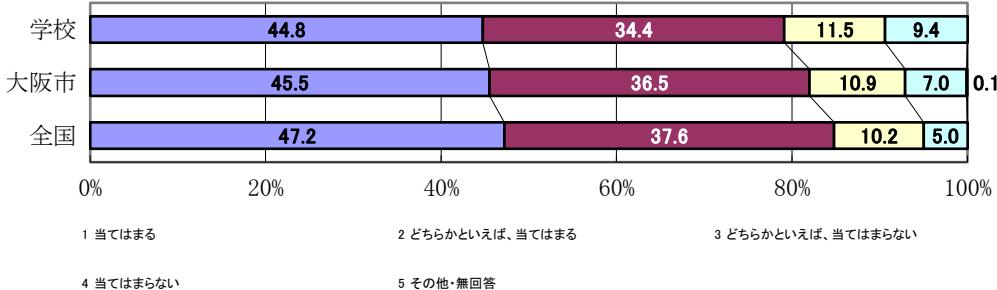
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

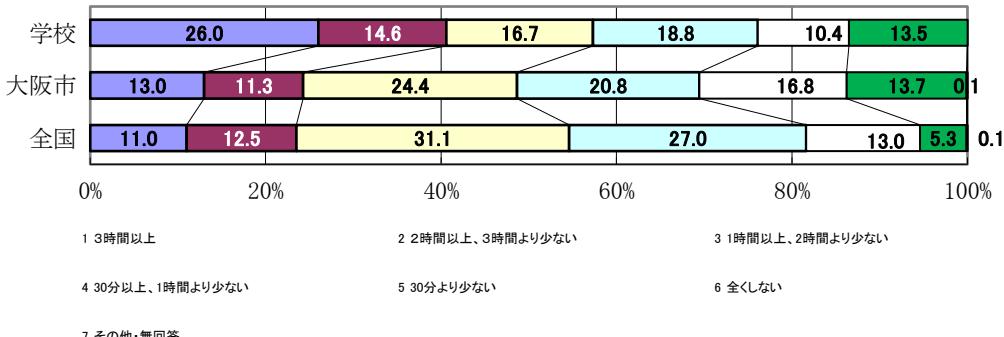
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



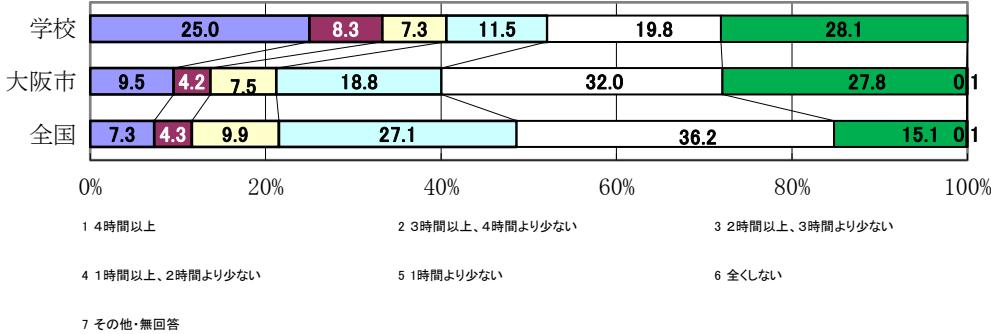
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



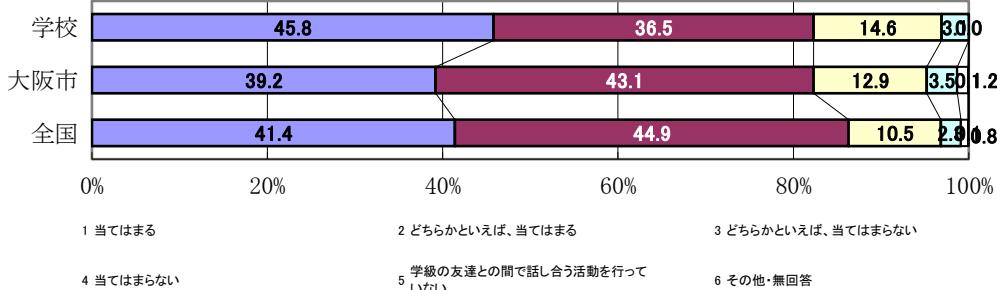
22

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



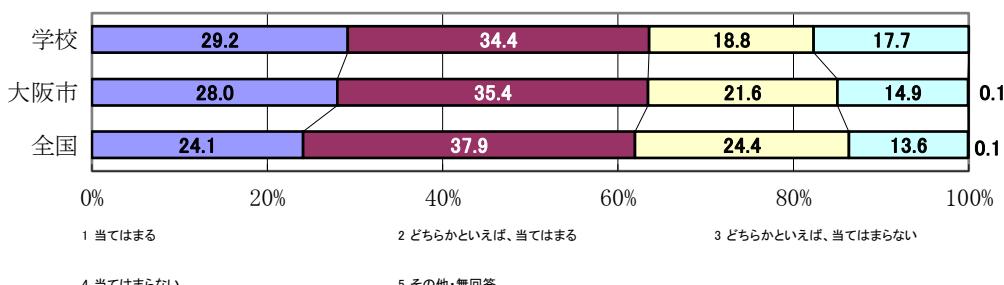
33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができていますか



42

国語の勉強は好きですか



児童質問より

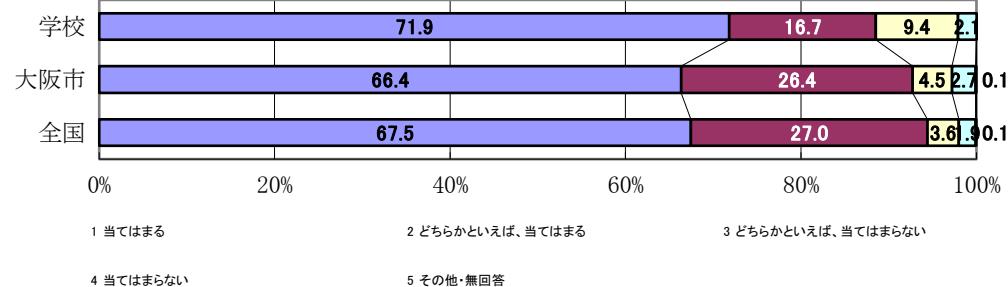
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

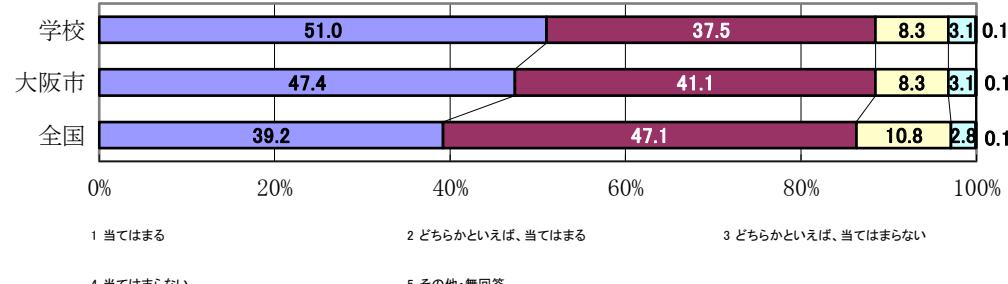
43

国語の勉強は大切だと思いませんか



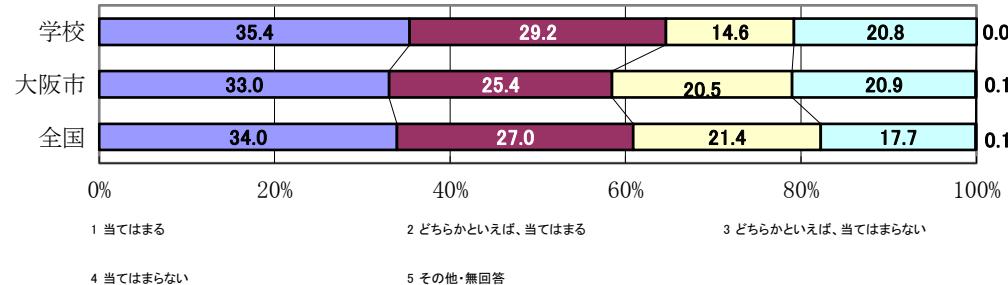
44

国語の授業の内容はよく分かりますか



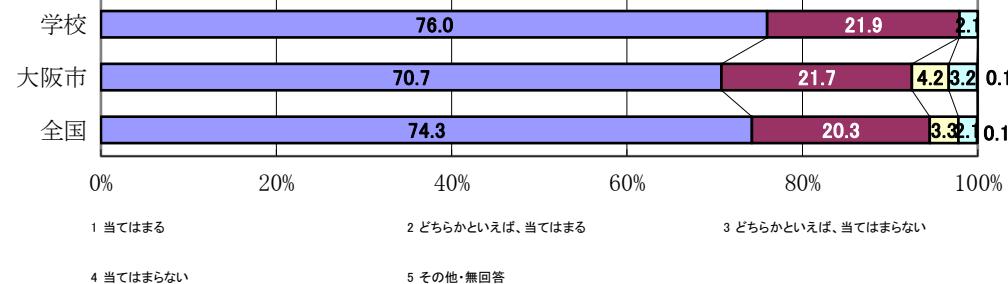
50

算数の勉強は好きですか



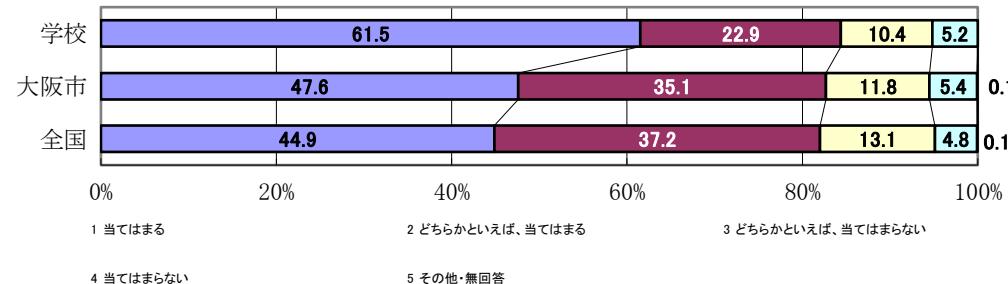
51

算数の勉強は大切だと思いませんか



52

算数の授業の内容はよく分かりますか



児童質問より

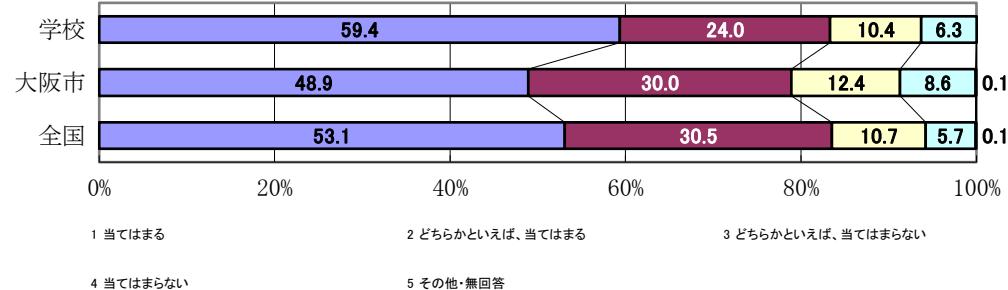
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

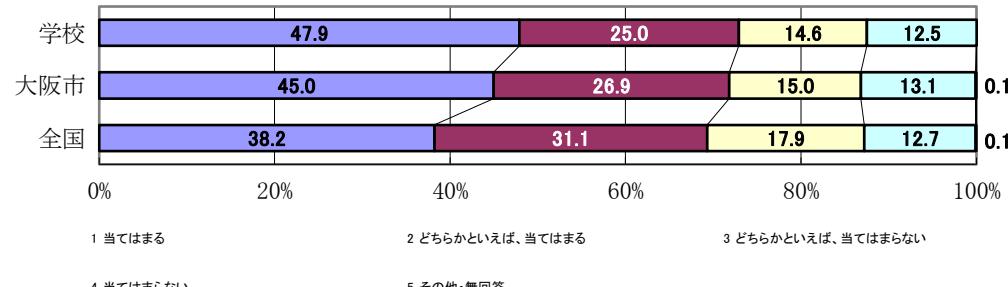
58

理科の勉強は好きですか



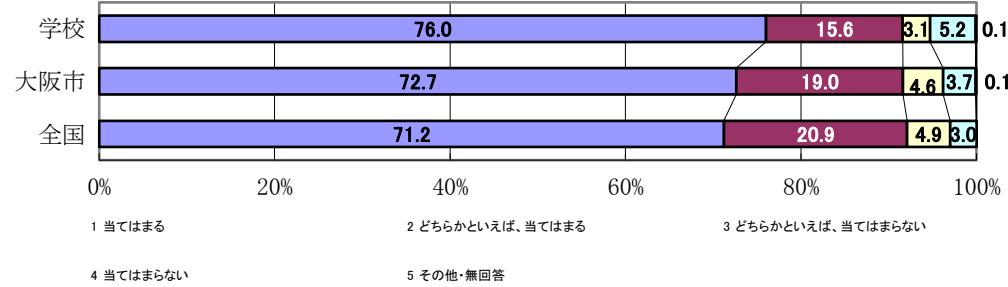
61

英語の勉強は好きですか



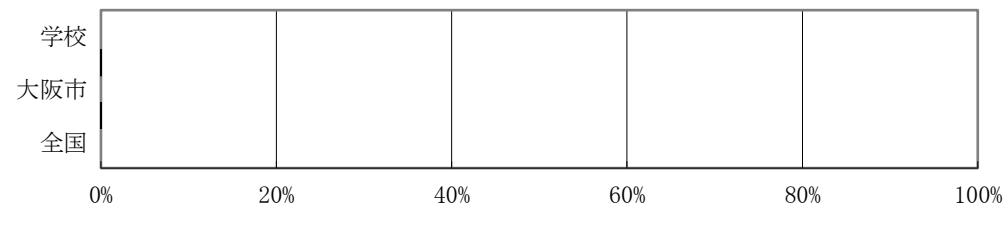
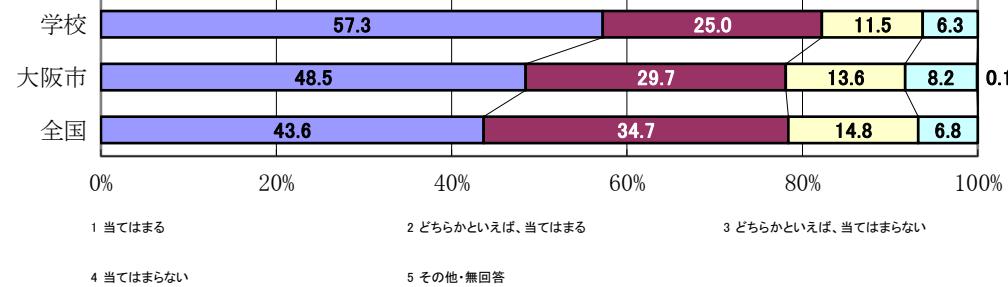
62

英語の勉強は大切だと思いませんか



63

英語の授業の内容はよく分かりますか

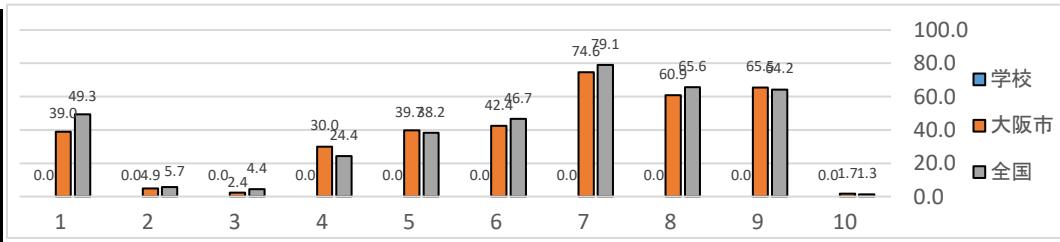


児童質問より(26)

質問番号
質問事項

26

放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか
(複数選択)



1 家で勉強や読書をしている

2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している

3 学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)地域の活動に参加している

4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1~9に当てはまるものがない

学校質問より

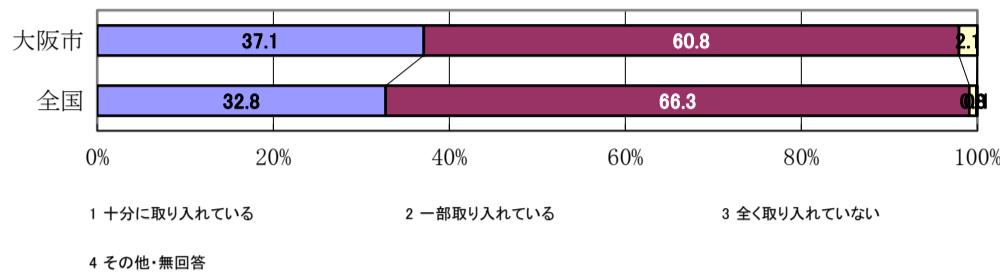
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

11

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

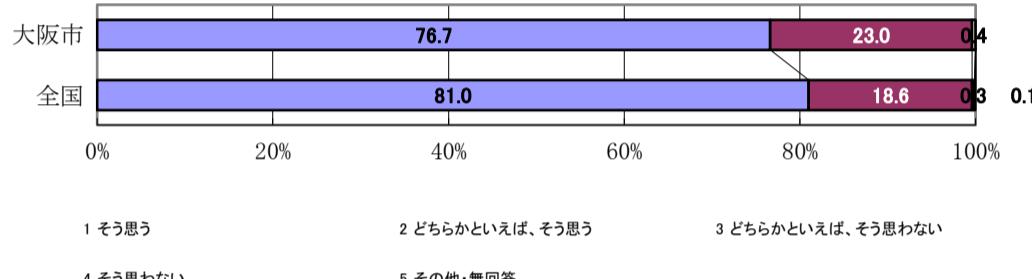
学校 「一部取り入れている」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

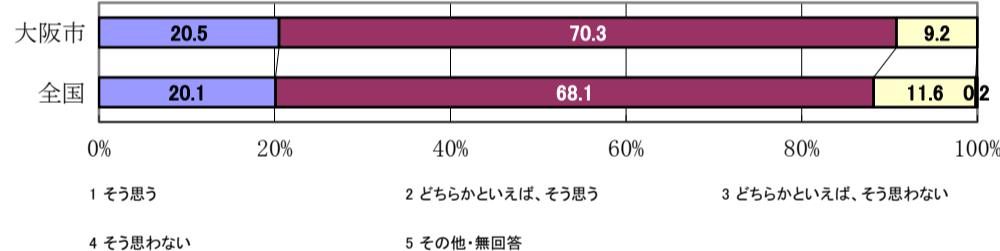
学校 「そう思う」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

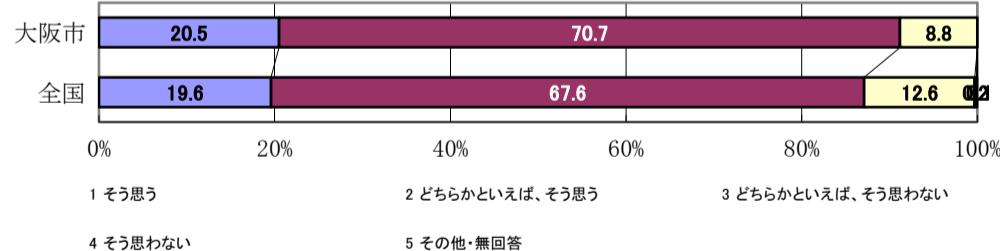
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



56

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

